

食の安全推進のためのタウンミーティング結果

開催日:平成28年10月28日(金)
場所:JAおおいがわ広幡支店(藤枝市)
主催:静岡県
回答人数:32名

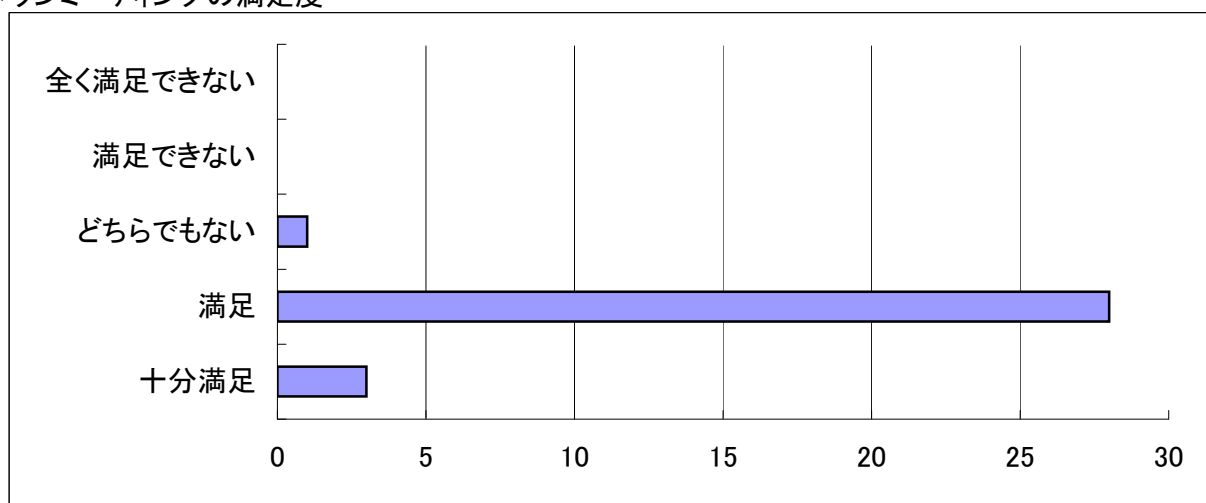
I 参加者

(1)男女比

男性	9人
女性	23人
合計	32人

II タウンミーティングについて

(1)タウンミーティングの満足度



III 意見・感想

- 無人販売をしている農家がふえているが、加工品などの衛生が心配です。
- 本県のはほとんど安心・安全と思っています。我が家でも出荷物には気を使っています。
- 表示に国産と書いてあると安心して買物が出来ると思います。
- 話の内容がちょっとこまかい。
- 消費者がよく注意して購入、正しい調理法で使うことが大事。
- これまで無関心だったので勉強になりました。
- 情報提供の充実を”わかりやすいことばで”お願いしたい。

IV 質問

○使い捨て手袋の効果について

(県回答)手袋をするから手洗いはしなくてもいいということではない。手袋を着用し作業する場合であっても、手洗いをする必要がある。使い捨て手袋は、作業ごとに交換する必要があり、適当な間隔での交換が必要。手袋を交換する際にも、正しい手洗いは必要。

○ノロウイルスなどに汚染されていることが分かるセンサーはないのか

(県回答)手や食品に付着した細菌やウイルスは目でも見る事ができないし、金属探知機のようにウイルスを検出する機器はない。ただし、手洗いの確認・検証する方法には、蛍光ローションを汚れと見立てて洗い残しを検証するものや、食品残渣に含まれる物質を汚染指標として検出・測定し、目で見て確かめることはできる。

○行政(地域農業課)から参加者への質問:「県内で生産される主な農林水産物の放射性物質検査について」

- ① 現状のどおり、品目も頻度(年1回)の検査実施してほしい 2名
- ② 引き続き、放射性物質の検査は必要と考えるが、品目については検討してもよいのではないか…大多数
- ③ きのご等 放射性物質が検出されている品目のみではよいのではないかと…8名